

# テトスへの書

## 第一章

一 神の僕またイエス・キリストの使徒パウロ 我が使徒となるは、永遠の生命の望に基きて神の選民の信仰を堅うし、また彼らを敬虔にかなふ眞理を知る知識に至らしめん爲なり。二 偽りなき神は、創世の前に、この生命を約束し給ひしが、三 時いたりて御言を宣教にて顯さんとし、その宣教を我らの救主たる神の命令をもて我に委ねたまへり。四 われ書を同じ信仰によりて我が眞實の子たるテトスに贈る。願はくは父なる神および我らの救主キリスト・イエスより賜ふ恩恵と平安と、汝にあらんことを。

五 わが汝をクレテに遣し置きたる故は、汝をして缺けたる所を正し、且わが命ぜしごとく町々に長老を立てしめん爲なり。六 長老は責むべき所なく、一人の女の夫にして、子女もまた放蕩をもて訴へらるる事なく、服従せぬことなき信者たるべきなり。七 それ監督は神の家司なれば、責むべき所なく、放縱ならず、軽々しく怒らず、酒を嗜まず、人を打たず、恥づべき利を取らず、八 反つて旅人を懇ろに待ひ、善を愛し、謹慎あり、正しく潔く節制にして、九 教に適ふ信すべき言を守る者たるべし。これ健全なる教をもて人を勧め、かつ言ひ逆ぶ者を言ひ伏するこ

とを得んためなり。

一〇 服従せず、虚しき事をかたり、人の心を惑す者おほし、殊に割禮ある者のうちに多し。二 彼らの口を箝がしむべし、彼らは恥づべき利を得んために、教ふまじき事を教へて全家を覆へすなり。三 クレテ人の中なる或る預言者いふ

『クレテ人は常に虚偽をいふ者、

あしき獸、また懶惰の腹なり』

三三 この證は眞なり。されば汝きびしく彼らを買めよ、一四 彼らがユダヤ人の昔話と眞理を棄てたる人の誠命とに心を寄することなく、信仰を健全にせん爲なり。一五 潔き人には凡ての物きよく汚れたる人と不信者とは一つとして潔き物なし、彼らは既に心も良心も汚れたり。一六 みづから神を知ると言ひあらはせど、其の行爲にては神を否む。彼らは憎むべきもの、服はぬ者、すべての善き業に就きて棄てられたる者なり。

## 第二章

一 されど汝は健全なる教に適ふことを語れ。二 老人には自ら制することと謹嚴と謹慎とを勧め、また信仰と愛と忍耐とに健全ならんことを勧めよ。三 老いたる女にも同じく、清潔にかなふ行爲をなし、人を誘らず、大酒の奴隷とならず、善き事を教ふる者とならんことを勧めよ。四 かつ彼等をして若き女に夫を愛し、

子を愛し、五 謹慎と貞操とを守り、家の務をなし、仁慈をもち、己が夫に服はんことを教へしめよ。これ神の言の汚されざらん爲なり。六 若き人にも同じく謹慎を勧め、七 なんぢ自ら凡ての事に つきて善き業の模範を示せ。教をなすには邪曲なきことと 謹厳と、八 責むべき所なき健全なる言とを以てすべし。これ逆 ぶ者をして我らの惡を言ふに由なく、自ら恥づる所あらしめん 爲なり。九 奴隸には己が主人に服ひ、凡ての事において之を喜ば せ、之に言ひ逆はず、一〇 物を盗まず、反つて全き忠信を顯すべ きことを勧めよ。これ凡ての事において我らの救主なる神の 教を飾らん爲なり。二 凡ての人に救を得さす神の恩恵は既 に顯れて、三 不敬虔と世の慾とを棄てて謹慎と正義と敬虔とを もて此の世を過し、三 幸福なる望、すなはち大なる神、われら の救主イエス・キリストの榮光の顯現を待つべきを我らに教 ふ。一四 キリストは我等のために己を與へたまへり。是われら を諸般の不法より贖ひ出して、善き業に熱心なる特選の民を己 がために潔めんとてなり。

一五 なんぢ全き權威をもて此等のことを語り、勧め、また責めよ。 なんぢ人に輕んぜらるな。

### 第三章

一 汝かれらに司と權威ある者とに服し、かつ従ひ、凡ての善き業

をおこなふ備をなし、二人を誘はず、争はず、寛容にし、常に 柔和を凡ての人に顯すべきことを思ひ出させよ。三 我らも前には 愚なるもの、順はぬもの、迷へる者、さまざまの慾と快樂と に事ふるもの、惡意と嫉妬とをもて過すもの、憎むべき者、また 互に憎み合ふ者なりき。四 されど我らの救主なる神の仁慈と、 人を愛したまふ愛との顯れしとき、五六 我らの行ひし義の業には よらで、唯その憐憫により、更生の洗と、我らの救主イエス・ キリストをもて豊に注ぎたまふ聖靈による維新とにて、我らを 救ひ給へり。七 これ我らが其の恩恵によりて義とせられ、永遠の 生命の望にしたがひて世嗣とならん爲なり。八 この言は信すべ きなれば、我なんぢが此等につきて確證せんことを欲す。神を 信じたる者をして慎みて善き業を務めしめん爲なり。かくする は善き事にして人に益あり。九 されど愚なる議論・系圖・争鬪・ま た律法に就きての分争を避けよ。これらは益なくして空しきも のなり。一〇 異端の者をは一度もしくは二度 訓戒して後これを 棄てよ。一 かかる者は汝の知るごとく、邪曲にして自ら罪を認 めつつ尚これを犯すなり。

二 我アルテマス或はテキコを汝に遣さん、その時なんぢ急ぎ てニコポリなる我がもとに來れ。われ彼處にて冬を過さんと定 めたり。三 教師ゼナス及びアポロを懇ろに送りて、乏しき事 なからしめよ。一四 かくて我らの伴侶も善き業を務めて必要を 資けんことを學ぶべし、これを結ばぬ事なからん爲なり。

一五 我われと偕ともに居をる者ものみな汝なんぢに安否あんびを問とふ。信仰しんかうに在ありて我われらを  
愛あいする者ものに安否あんびを問とへ。  
願ねがはくは御恵みめぐみ、なんぢら凡すべての者ものと偕ともにあらん事ことを。